参考資料③

第１９回　政策提言会議について

１．開催日時　　平成 21 年８月 23 日（日）　10：00～12：00
２．場　　所　　神戸市役所 14 階　大会議室
３．テ ー マ　　「神戸市次期基本計画」について
４．進 行 役　　社会福祉法人プロップステーション　竹中　ナミ　理事長
５．出 席 者　　政策提言会議メンバー　３５名（男性１８名　女性１７名）
６．メンバーの主な発言（要旨）

【総　論】

○ 「神戸づくりの指針」検討のための５つの「基本的な考え方」について、まずしくみづくりを重視すべき。市民が市長に直接意見できるこの政策提言会議も大切なしくみの一つ。
○ 一人ひとりの能力を活かすということは、下手にすると孤立につながりかねないが、それを自覚した上でどのように地域のつながりを広げていくか、また、地域としてどのように支えていくかが神戸のこれからの指針となる。

１．市民一人ひとりが能力を発揮し支えあうまちづくり

○ 市教育委員会とＰＴＡ協議会で人材養成事業を行っているが、学校と地域とのつなぎ人の育成を目指し、周りとの折り合いの付け方を学ぶことが必要。
○ 若者が神戸で仕事をしたいと思って帰ってきても、仕事が無く商談相手は東京が中心となってしまっているため、若者が神戸でスキルアップできるしくみが必要。
○ 高校中退などで多くの子どもが行き場をなくしている。就職させて、活用しきれていない能力をまちの中で生かせるようなしくみを作れないか。
○ 医療産業やスパコンの次の新産業育成に向けて、優秀な人材を呼び込むためには、モラルの高いまちとして、外国人学校やソーシャルクラブが充実していることが大切である。
○ 教育の無料化は出来ないか。そこで高齢者等が教えるようにすれば、新たな雇用にもつながっていく。

２．人と人とのつながりを活かした地域主体のまちづくり

○ 挨拶をしても返さない人が見受けられる。市民一人ひとりの意識改革が必要。
○ 高齢者等の災害弱者の支援のため、専門職のみでなく一般の人も日頃から協力体制を作るべき。
○ スポーツ大会などを通じて、こどもから高齢者まで一緒になって楽しく行動できる機会が必要。
○ 地域の行事にあまり参加していない団塊の世代を招き入れることにより、高齢者から若者へのつながりが出来る。
○ エコタウン事業と環境省のこどもエコクラブを抱き合わせで行うことにより、子どもが親以外の大人とつながりを持つことができる。
○ 商店街は地域生活の要であり、情報発信の場となるので、再建が必要。
○ 規範意識のない大人が増え、今の少年・少女は信用できる人がいないと感じているため、高齢者が活躍できる場をつくり、少年・少女が高齢者に感謝の気持ちを感じられるまちづくりが必要。

○ 区民センターは人口に応じて設置されているようだが、東灘では空きがないのに、垂水や須磨では空きがあると聞く。改善が必要では。

３．新たな価値を創造し世界へ発信するまちづくり

○ 神戸の財政状況改善度ランキングが第一位であることをもっとＰＲしていくべき。

○ 神戸の良い部分をアピールするペーパーを基本計画と併せて作成すべき。

○ 大阪の「水都」、京都の「古都」のような、みなとまち神戸のまち全体を表すような言葉が必要。

○ スウィング・オブ・ライツのような取組みは恒久的なものにすべき。

○ 飛騨高山では、外国人観光客に５か国語のパンフレットを配り、一般のチケット売り場でも英語で対応していた。神戸も外国人観光客に優しいまちになるべき。

○ 神戸は日本のサンフランシスコであると思っている。川崎重工の路面電車スイモを南北に走らせてはどうか。

○ マラソン，サイクリング，カヌーなどの人力の移動手段をデザインや健康、観光につなげる「エコデザインスポーツタウン」を提案する。

○ 日本のジャズ発祥の地として神戸にジャズ博物館を作り、大いにＰＲすべき。

○ 文化ホールにオペラ劇場を。また、トイレを増設してほしい。

○ パリ市で利用されているレンタサイクルを神戸市にも導入すべき。

○ 長崎や函館に比べ、神戸の夜景は発信しきれていない。夜景を見たら神戸で１泊というような神戸で滞在する戦略を検討していくべき。

４．これからの神戸を支えるしくみづくり

○ 税収増に直結する市民や企業の増加に向け、付加価値を高めるべき。

○ 家庭を持ち家族がいる人は、地域に溶け込みやすい環境にあるが、引きこもりがちのＩＴ系企業の人や独身の人は、地域に入りにくい環境にあるため、しくみの構築が必要。

５．活力ある安全で快適なまちづくり

○ ポートアイランドに小さな公園ではなく森のような公園を作ってはどうか。

○ トアロードに馬車を走らせてはどうか。人力・馬力等による輸送手段は、都市の魅力に温かみをもたらす。

○ おしゃれな神戸らしく乗馬警察を導入してはどうか。

○ 震災復興記念公園のバイパス下の空間に、ローラースケートなどのニュースポーツを楽しめる場を作ろうとしている。手を抜かずにしっかりとオープンしてもらいたい。

○ 神戸空港は午後 10～11 時台の東京発の便が必要。

○ 関空からのバス降場は車道である上に、駅までが坂になっており、親切でない。場所を変更するなり、バリアフリー化するなり工夫が必要。